

## 第 19 回 自然科学研究所公開講演会報告

平成 28 年度の公開講演会が、11 月 12 日（土）専修大学生田校舎 10 号館 10101 教室において開催された。

講演内容としてはテーマを「炭素～ありふれた、かけがえのない元素～」とし、1)「炭素に関する基礎知識」を専修大学自然科学研究所、松本 幸三氏、2)「古くて新しい炭素の科学」を久保 孝史氏が講演を行った。

参加者は、本学学生、教職員、一般受講者総数で約 80 名となった。今後の参考となるように参加者に簡単なアンケートをお願いし、回収した分の集計を下記に記す。

アンケート回収枚数（計 61 枚）一般受講者（61 枚）

### 一般受講者集計

#### ● 本公演会をどのようにして、お知りになりましたか？（複数回答含）

- ・ 専修大学エクステンションセンターからのダイレクトメール : 30 名
- ・ 専修大学自然科学研究所からの案内はがき : 23 名
- ・ 教員による告知 : 1 名
- ・ 公開講演会開催ポスター : 6 名
- ・ 専修大学自然科学研究所ウェブサイト : 1 名

#### ● 講演内容について（多数のため一部抜粋。（ ）は類似の回答数）

- ・ 分かりやすく、とても勉強になった。(4)
- ・ 興味深かった、参考になった。(5)
- ・ 炭素に対する見方、考え方が変わった (8)
- ・ 現象は理解できるが、メカニズムの説明をもっとしてほしい。
- ・ カーボンがこれ程、実社会に役立っていると知りませんでした (4)。
- ・ 大変有意義な時間を過ごさせて頂き、面白かった。(12)
- ・ カーボンナノチューブの製造過程の危険性、化学合成中の問題点を聞いたかった。
- ・ 普段聞けない内容で良かった。(5)
- ・ 炭素に関する凄い知識が得られた。
- ・ エピソードを交えてのお話しが最後まで面白く聞いた。(2)
- ・ ドキュメントのような物語性を感じられて、楽しかった。
- ・ 良い講演を聞くことができた。

- ・ 2つのレクチャーで構成が成り立っていて理解がスムーズだった。(2)
- 今後、講演会で取り上げて欲しいテーマ等ありましたら教えてください。(複数回答含)
- ・ 青色 LED の研究・開発
- ・ 近未来の異常気象 (2)
- ・ 身近な物質、新元素の発見
- ・ 地球温暖化に伴う海水の上昇 (5)
- ・ 物理・化学・天文学 (2)
- ・ 地震・プレートテクトニクス (2)
- ・ 宇宙 (2)
- ・ エルニーニョ現象
- ・ 火山活動
- ・ 原子力・放射性物質 (2)
- ・ 生命の誕生とその進化 (2)
- ・ 海中地下資源の現状
- ・ オートファジーについて
- ・ 環境問題 (2)
- ・ 量子力学・量子化学 (2)
- ・ 炭素 C14 について
- ・ 研究成果 (2)
- ・ ノーベル賞の科学について